教員名	野々口　ちとせ （NONOGUCHI　Chitose）
所　属	文教育学部言語文化学科日本語教育講座
学　位	修士 （人文科学）
職　名	講師
URL ／ E-mail	http://jsl2.li.ocha.ac.jp/index.html ／ nonoguchi.chitose@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

共生日本語教育 ／ 対話 ／ グローバル・リテラシー ／ 協働学習 ／ 内省

◆主要業績　　総数 （ 2 ）件

・「刺激回想法による教師の内省活動」『2006 清華大学日本言語文化国際フォーラム論文要旨集』151-152
・「共生を目指す対話をどう築くか―ある地域日本語教室の事例から―」
第 33 回お茶の水女子大学日本言語文化学研究会 口頭発表

◆研究内容

1）地域の日本語教育に関する教育実践の研究
日本語母語話者と日本語非母語話者による対話的問題提起学習を実践し、その対話の内容を分析した。具体的には参加者が生活者として抱える自分の問題をどのように語り、それを他の参加者がどう理解し反応しているかを明らかにし、参加者がどのように学習活動に取り組んでいるのかを把握した。また、日本語教師が対話に果たす役割を記述した。
2）多言語多文化共生を目指す日本語教育実習を対象とした研究
本学大学院日本語教育コースで実施している教育実習で、アンケート調査を行ったり、談話データを収集したりして、実習生の学びや、参加者の意識変容に関する分析と考察を行った。

◆教育内容

日本語教員養成における入門期の教育と、留学生に対する日本語教育を担当している。
＜日本語教員養成における入門期の教育＞
1）日本語教育学：教材や学習活動の分析を通して、外国語として日本語を学び、使うとはどういうことなのかを考える。また、日本語学習者が直面する心理的・社会的な問題や、日本語教師の役割についても検討する。
2）日本語学：身近な日本語にひそむ力関係や社会・文化との結びつきに注目し、ことばを多角的に分析する力を養う。日本語学の中で社会言語学的な分野を中心に扱い、分析と考察を行う。
＜学部留学生に対する日本語教育＞
留学生が大学での研究生活を円滑に進めるために必要な日本語教育を行っている。特に、ペアワークやグループワーク、ディスカッションなど仲間とともに行う活動を通して、レジュメを作って発表したり、レポートを作成する力を伸ばすことを目指している。

◆共同研究可能テーマ

・日本語非母語話者と日本語母語話者の相互学習
・多言語多文化共生を目指す教育実習における実習生の学び

◆将来の研究計画・研究の展望

地域の日本語教室における教育実践を対象に、日本語教師によるコースデザインの検討と、学習活動の分析を継続する。そして、日本語母語話者と日本語非母語話者がお互いに学び合い、共生社会を築くための次の行動を考える学習活動を整備し、教師の担うべき役割を精緻化したい。

◆受験生等へのメッセージ

日本語教育基礎コースでは、日本語教育に関する基礎知識を学びますが、日本語教員を志望する人だけを対象としているわけではありません。グローバル化が進む現代、言語や文化が異なる人々と共に生きる時代に必要な「リテラシー」について考えるコースでもあります。自分の持つ思考の枠組みや言語や文化を振り返り、他の異なる枠組みとぶつかったときに、新たな枠組みをどう創り上げるかを、一緒に考え話し合う授業をつくっていきたいと思っています。